

バイオエクセルG資材使用法

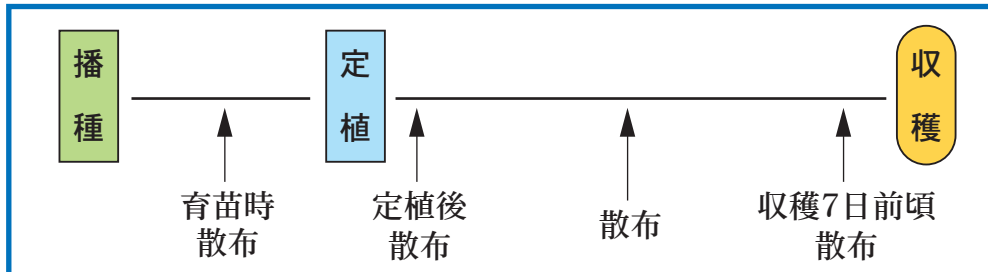
1. バイオエクセルG（有効菌代謝産物）機能性資材

有効菌が作り出したかん水、葉面散布資材です。細胞がしっかりし、高品質の作物が収穫できます。収穫後の鮮度が長持ちします。

注意事項：種の時に散布すると発芽が遅れますので、発芽してからご使用下さい。葉面散布と書いてあるところは、かん水も兼ね充分にかけて下さい。1,000倍希釈で使用するのが基本です。

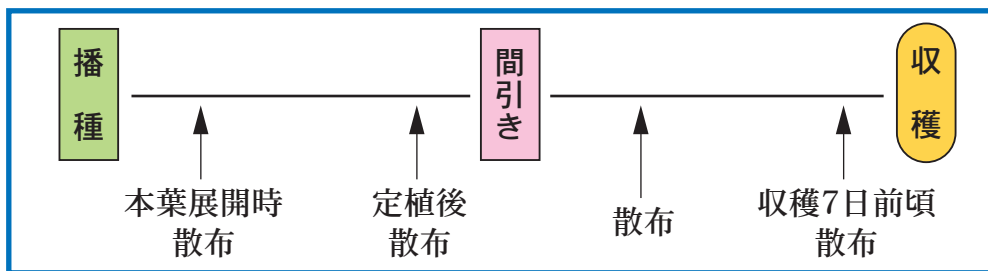
葉菜類 苗作りの時から使用すると効果的です。播種後双葉がすぎ本葉展開してから散布して下さい。

☆ キャベツ・ハクサイ等



10日～2週間に1回の間隔で3～4回散布し、最終散布は収穫7日前頃が理想です。

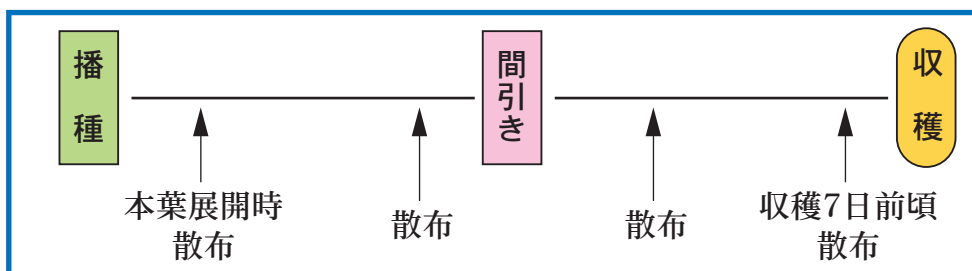
☆ ほうれん草・小松菜・高菜・なが葱等



定植後10日～2週間間隔で3～4回散布し、最終散布は収穫7日前頃が理想です。

根菜類 播種後双葉がすぎ本葉展開してから散布して下さい。

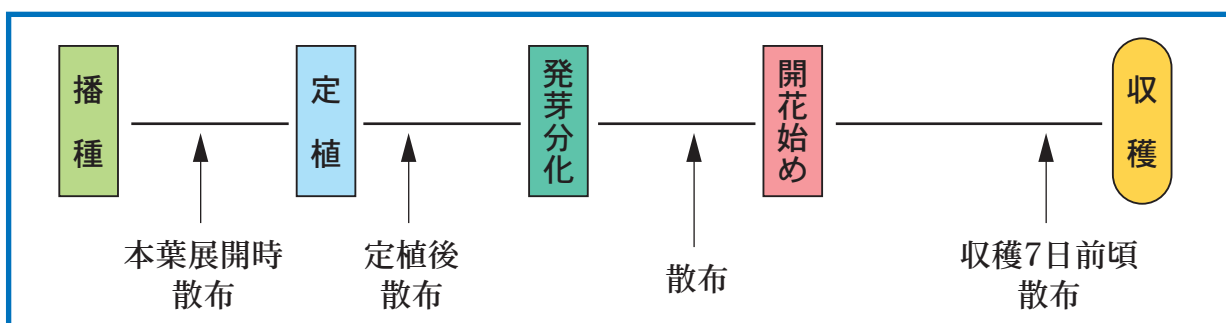
☆ 人参・大根・ゴボウ等



定植後は10日～2週間間隔で3～4回散布し、最終散布は収穫7日前頃が理想です。

果菜類 苗作りの時から使用すると効果的です。播種後双葉がすぎ本葉展開してから散布して下さい。

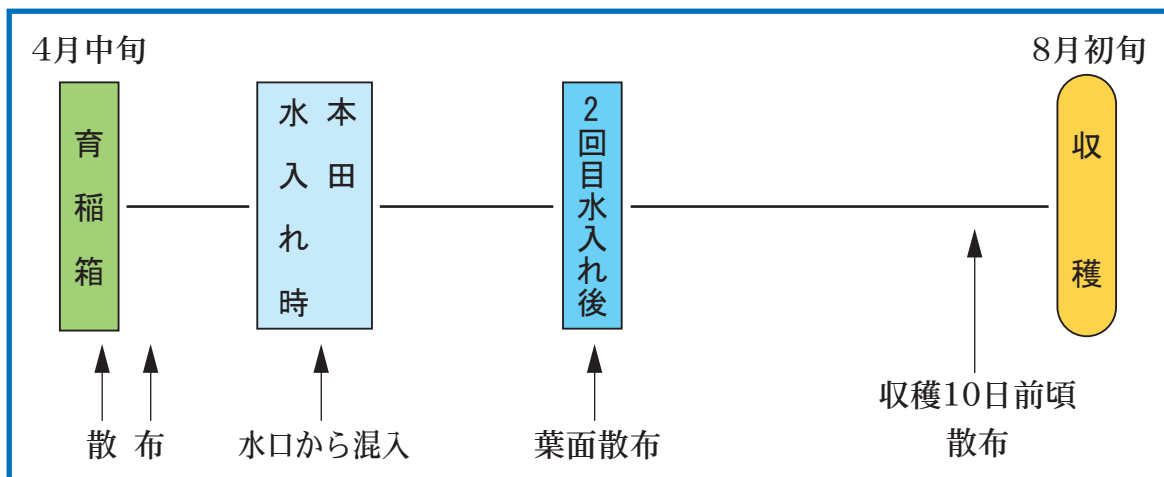
☆ なす・とまと・胡瓜・ピーマンその他



定植後10日～2週間間隔で3～4回散布し最終散布は、収穫7日前頃が最適です。

穀類

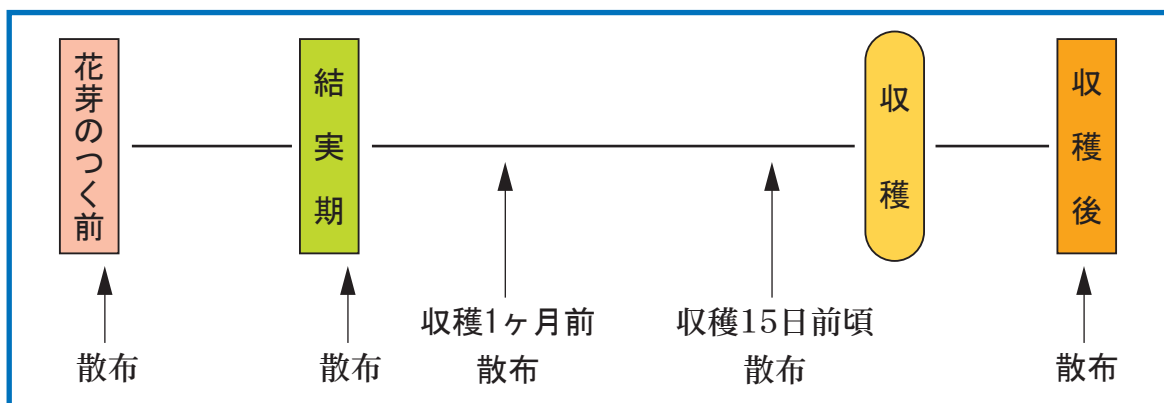
☆ 水稲（地域によって使用時期は変わります）



育苗時は週1回は散布して下さい。濃度は濃くならないよう注意してください。

果実類

☆ リンゴ・ブドウ・柿・みかん等



収穫までに3~4回散布し最終散布は収穫15日前頃にします。
花芽時期・収穫15日前頃の散布時に、光栄養菌を混合散布すると糖度が一段と上がり食味が良くなります。

バイオエクセルG使用の主な生産者

氏名：比留間 友治さん
住所：埼玉県 朝霞市 根岸台4-10-11
作物：梅、ほうれん草
寸評：作物が丈夫に育ち日持ちがよい。

氏名：「自然に還る会」会長 金井 勝幸さん
住所：群馬県 北群馬郡 榛東村広馬929
作物：トマト・きゅうり・ナス・レタス・人参・カボチャ・その他一般野菜
篤農家10軒で無農薬野菜宅配をしている。
寸評：日持ちも良く消費者に喜んでいただいています。農作業も人間に対する薬剤使用の害がなく、安心して農作業が出来ます。

その他多数の生産者にご使用いただいております。